

6月の授業変更に対するお詫び

子ども達が真っ赤な顔をして塾部屋に飛び込んで来る季節となりました。また、暑い暑い夏が来ましたね。

さて、ご挨拶が遅くなりましたが、先月6月12日の父逝去の際には、皆様に多大なご迷惑をおかけしてしまいまして、誠に申し訳ありませんでした。この場をお借りしまして、心よりお詫び申し上げます。

6月10日（火）の夜8時過ぎ、向かいのマンションに住んでいる母が、父の様子がおかしいと、私のもとにかけこんできました。その時、中3Sクラスの授業を行っていたのですが、とりあえずプリントを用意し、みんなにはそれをやるよう指示して私は両親のもとへかけつけました。その時、ベッドに寝ていた父は口からピンク色の泡を吹き意識がなくなっていたので、すぐに救急車を手配しました。救急車到着までに一度呼吸が止まってしまい、最悪の事態に陥るところでしたが、私とほぼ同時にかけてくださった、いつもお世話になっている訪問看護師さんの的確な処置と、その後到着したレスキューの方々の救命処置のおかげで、その時は一命をとりとめ、徳州会病院への搬送となりました。両親を見送った後、私は教室に戻り、まだ父の容態がわからなかったため、申し訳ないけれど中3Sクラスの授業は打ち切りということにさせていただき、私も父のもとにかけつけました。急なこととはいえ、私からは何のご連絡もできず、本当に申し訳ありませんでした。「授業がなくなった。」とお子さんからご連絡を受けた保護者の皆様は、さぞ驚かれたことと思います。

父の病名は急性肺炎で、そこからの心不全による呼吸困難でした。その後、意識も戻り、翌日の水曜日は少しだけ会話も出来るほどに回復したのですが、残念ながら木曜日の夜、息をひきとりました。行年91歳でした。

私はわがままをさせていただき、木曜日の夜の危篤状態の時には病院に付き添わせていただきましたので、その日の小5と中3の授業、そして翌日金曜日のお通夜直前の小6の授業は、塾の専従者である次男と、京都から駆けつけてくれた長男に代行してもらいました。二人とも指導経験があるとはいえ、いろいろといたらない点があったことと思います。保護者の皆様には了解も得ず、勝手に講師変更をしてしまいまして本当に申し訳ありませんでした。

中学生の諸君にとっては大切な定期テスト前でしたのに、授業日程が変更（中止→振り替え）になるなど、混乱させてしまいました。本当にごめんなさい。これから夏季講習にかけてしっかり取り戻していきますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。